

みんなで築く!

こうふくいちやじょう 港福一夜城 VOL.1 どろっぶサテライトの巻

DATE 2016年10月13日(木)

18:45~20:30

2016年、こどもの貧困問題がメディアにのぼらない日はない。
どんな現場でもソーシャルワークが必要になっている。
寿町での保育実践、沖縄の今を知っているゲストを迎えて
明日の実践のため一夜集まり語り合う港福一夜城。

◎ 会場 港北区地域子育て支援拠点どろっぶサテライト
(綱島東3丁目1番7号・TEL045-633-1078)

◎ 参加費 500円

港北区在住在勤等ゆかりある方で
地域のまちづくりや福祉的な取り組み
に関心ある方ならどなたでも歓迎。



◎ 主催 港福城プロジェクト

港福城プロジェクトは、港北区内で福祉に関わる団体・個人が
自由意志で意見交換・学びあいのために参加するプロジェクト。
参加費は資料代、講師謝金などに充当します。
年数回の勉強会を行う予定です。

WEB等で告知します。 <https://www.facebook.com/kohokusasuke/>



◎ 福の衆 (プロジェクト賛同人)

このプロジェクトは港北区にゆかりのある有志が、次代を担う人たちが所管や事業の枠
を超えて横断的に連携することこそが、地域住民の明日の暮らしの幸せを築くことにつ
ながることを願って、プロジェクト賛同人=「福の衆」と名付け、たくさんの方々のご賛同
を得て運営します。裏面に五十音順で掲載しています。

◎ 申込・問い合わせ：港福城プロジェクトTEAMSASUKE
<http://kokucheese.com/event/index/419790/>



畑中 (y-hatanaka@bi-no.org)
田之畑 (tanohata@kohoku-drop.com)
嶋 (h.shima@ryokuhokai.or.jp)

港北の福祉の次代を
担う人が集まる

一夜城

役職・職域・世代は
関係ない。身近な実践

を聞きあい、

ただ明日のために

語り合おう

みんなで築く!

こうふくいちやじょう
港福一夜城

VOL.1

今夜のご当主



加藤 彰彦

(沖縄大学 前学長)

村田 由夫

(大倉山保育園園長)

今夜のご当主-これまでのあゆみ-

村田 由夫 (大倉山保育園園長)



1943年 川崎大師の生まれ。小さい頃は、メダカ、ドジョウ、ザリガニ、トンボ取りに明け暮れる。1日3回「どぶ」に落ちた経験がある。近所の家の鯉や金魚を外にかき出したり、隣の家のガラスを手製パチンコで割ってしまったり、父母が頭を下げて歩く。そうとは知らなかったのは自分だけ。至福の子ども時代を過ごす。

1968年 (福)神奈川県匡済会寿福祉センター(保育所・診療所・相談所)に相談員として、日雇労働者とその家族が住む寿地区「簡易宿泊所」で相談活動を行う。

1978年 アルコール依存症者の自助グループ・横浜グループ発足に立ち会う。

1992年 任意団体 市民の会寿アルク発足 代表となる

2006年 NPO法人 市民の会 寿アルク発足 理事長となる。

2012年 (福)神奈川県匡済会 大倉山保育園長に着任、

著書『良くしようとするのはやめたほうがよい』(’92年)

発行：寿青年連絡会議清算事業団・まめの木学校を育てる会

加藤 彰彦 (沖縄大学 前学長・名誉教授)

1941年 東京生まれ 横浜国立大学を卒業し、小学校の教員になる。

4年後に退職し、北海道から沖縄まで放浪の旅に出て、日本各地の共同体を訪ねつつ、酪農や日雇い労働などさまざまな仕事を経験する。その後、横浜市立寿生談所の児童福祉司(相談員)。

貧困の子ども・家族支援に精力的に活動を続ける。

1991年、横浜市立大学の教員(社会福祉論)

1993年、日本社会臨床学会設立に尽力する。

2002年、沖縄大学の教員(児童福祉論)

2014年3月まで沖縄大学学長を務め、退官。現在は沖縄大学名誉教授。

この間、沖縄子ども研究会発足に尽力する。2015年春に横浜に戻る。現在はワーカーズコープに参加し、子ども・若者の支援と生活困窮者の仕事づくり、仕事おこしに力を入れている。

著書 子どもとつくる地域づくり-暮らしの中の子ども学(学苑社)その他30冊以上、多くは野本三吉のペンネームで執筆。



福の衆-プロジェクト呼びかけ人- (五十音順) 2016年9月1日現在

青木恵美子(NPO法人フラットハート)・安達和世(小山保育園園長)・池田誠司(港北区社会福祉協議会)・石原千草・伊藤泰毅・入江勝通

(港学舎/心のバリアフリー・大倉山市民の会/コミバス市民の会)・岩本洋子(日吉台光幼稚園)・岩本邦彦(日吉台光幼稚園副園長)・

宇田川規夫(港北区災害ボランティア連絡会・国際救急法研究所)・大神田絵美(城郷小机地域ケアプラザ)・奥山千鶴子(NPO法人びーのびーの)・大場佳代子(NPO法人あいあい)・大豆生田啓友(玉川大学大学院教授)・大野玲子・門倉晴義(金沢区社協)・河村多喜・

北見智美(天王町保育園園長)・木下豊(港北図書館館長)・久保希有子・小池伊左雄・小嶋正夫(中区社協)・小林富夫(トライセブン)・小林康夫・嶋宏之(高田地域ケアプラザ)・白瀧宏子(たんぼぼ保育園園長)・助廣一則・

鈴木ヨシモト直美(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・鈴木智香子(NPO法人街カフェ大倉山ミエル)・鈴木美美子(NPO法人ハッピーマザーミュージック)・関口昌幸(横浜市政策局)・妹尾信二(精神保健ボランティアグループあみねっと)・田中孝秀・田之畑有美(港北区地域子育て

支援拠点サテライト副施設長)・中川玲(NPO法人グループ大きな木)・畑中祐美子(NPO法人びーのびーの)・原美紀(港北区地域子育て支援拠点施設長)・平井誠二(大倉精神文化研究所)・藤岡圭子(新吉田地区民生委員)・武藤啓司(楠の木学園)・村田由夫(大倉山保育園園長)・宮田光明(港北区民生委員児童委員協議会)・安江文子(ちいさなたね保育園)・山科礼子(港北区主任児童委員連絡会)・

山村朋子(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・安田加代子・山本一乃(日吉地区センター副館長)・